

東天高く 藍より青く

天草市立牛深東中学校
第 26 号
令和2年6月24日(水)

公式HP : <http://jh.higo.ed.jp/ushibukae/>

公式Facebook : 牛深東中学校 東天高く藍より青く

文責 校長 小田和也



東中生徒会の横断幕を国道沿いに掲げました。

言葉は、コロナに負けない生徒会の副会長袋田さんが考えました。

書は、保健給食委員長の脇崎くん、ご存知あまび笑さまは、JRC委員長の村田くん作です。

地域の皆さんに元気を届けたいという、エールです。

よろしくお願いします。

コロナの3つめの顔に負けないこと

今朝、放送で全校生徒に話をしました。

コロナウイルスの3つの顔の話です。

1つめの顔は「病気そのものとしての顔」…これには、全校生徒、全職員でできる限りの対策をして、学校再開をしてきました。

2つめの顔は「不安という顔」。これも、生徒たちの笑顔と頑張りで、乗り越えているところです。

3つ目はコロナの偏見や差別という顔です。

天草保健所管内でコロナウイルスの感染者が出たことで、これまでの見えない不安、どこか遠くに思っていた不安が、身近なところでの偏見や差別という顔に姿を変えて現れる可能性があります。

いろいろな噂をしたり、人を傷つけるようなことを言ったりするような人が、もしかしたら出てくるかもしれません。

これがコロナの第3の顔です。

たとえコロナウイルスに感染しなかったとしても、コロナウイルスのことで無責任な噂をしたり、人の嫌なことを言ったり、傷つけあったりしたら、それは、コロナに負けたことになるのではないのでしょうか。

私たちは、この3つめの顔が姿を表しても、負けるわけにはいきません。

負けないためには、確かな情報を知ったうえで、逆にコロナウイルスのこの状況の中でも、皆さんを支えてくれている家族や社会のために働いておられる方に感謝をしたり、応援したり、元気を与えたりしていこうという話をしました。

(詳しくは今日の本校HP・校長室ブログをご覧ください)

以下に紹介するのは、毎日新聞ホームページ「いま、最前線で働くあなたへ」に掲載されていた、読者の皆さんからのメッセージです。

■haru さん

「医療従事者の皆様へ

近頃、ニュースなどで医療従事者だからという理由で断られたり、いじめの被害が増えているということを知ることが増え、とても心が痛いです。

私たち市民が元気に日々を過ごしている理由は、皆さんが当たり前のように病院にいるという安心感あってのこと。当たり前が当たり前じゃないと気づける優しい世界に少しでもなりますように。

毎日お疲れ様です。そして本当にありがとうございます。」

■介護士 さん

「病院で働いている介護士です。私達も熱が37度以上あったら出勤できません。

そのためこの二ヶ月人数確保のため休みでも出勤

したり急な夜勤交代が続いています。

院内感染をおこしたら大変なことになるので、家族との距離、買い物、通勤といつも神経がピリピリして胃薬を飲みながら仕事しています。私達は、感染リスクの高い所で働いていますが、うつらない、うつさないを常に考えてます。皆様の応援を励みに頑張ります。」

■まゆみん さん

「看護師の息子を持つ母親です。四月終わり頃、明日からコロナ病棟になると連絡がありました。誰かがやらなければならないと自分に言い聞かせ「しっかり従事して頑張れ」と一言だけ伝えました。息子は家族の宝物、そしてほこりです！どうか皆さん自粛して下さい。」

■ナミダ さん

「ドラッグストアで勤務しておりマスクや除菌の事で毎日が戦いでした。販売しているだけなのに一部のお客様から怒鳴られ、叱られ、罵倒の日々。それでもお困りのお客様の為にスタッフみんなで慰め合いながら頑張ってきました。最近ではこの様な励ましのお言葉を頂ける機会が増えてきたので本当に頑張ってきた甲斐がありました。応援してくれている人達へも「ありがとう」世界中が不安と戦っている今こそ大切にしたい言葉の力。」

■asha さん

「当たり前だと思っていた全てのことにただただ感謝です。朝起きたら新聞が読めること、おいしい食事ができること、安全な水が飲めること、お風呂に入れること、手を洗えること、洗濯ができること、テレビを見ることができると、ごみ回収で衛生的であること、いざとなれば受診できること、父が介護施設で安心して療養できること、日常の全てが実に多くの方々の尽力で成り立っていることに感謝してもしきれません。」

■ピグパヤっとるよほのび さん

「中学2年生女子です。大変な時期でも医療の方はコロナと向き合って頑張ってくれていると感じてます！大変な中なだけ頑張ってください！応援します！飲食店は売り上げが大変だと思います。でも大変な時期でもテイクアウトでお弁当等を販売してくれてありがとう」

生徒の皆さんも、誰かに感謝の手紙を書いてみませんか。